

1年学年通信 1月号

石川県立金沢錦丘高等学校
令和2年度1年学年団



あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、みなさんはこれからの1年をどのように過ごしたいと考えていますか？

昨年はコロナ禍の影響で、6月から高校生活が始まり、感染予防のためマスクを着用して学校生活を送りました。そのような中でも多くの出会いや経験など、様々なことがあったと思います。今までを振り返った上で、みなさん自身がさらなる成長ができるような目標を立ててみましょう。

「心機一転」新年は新しい自分になることができるチャンスです。

1月16日(土)・17日(日)に行われる大学入学共通テストに向けて、寒い中、3年生の先輩たちが、廊下などで真剣に勉強している様子を目にしていると思います。先輩たちを応援するとともに、2年後の自分の姿をイメージして、今から努力を始めてほしいと思います。

みなさんにとって、大きな成長につながる1年になるように願っています。

～1月の予定～

日	月	火	水	木	金	土
3 閉庁日 (生徒登校禁止)	4	5 始業式 表彰伝達式 (放送で実施) 2限目より通常授業	6	7	8	9
10	11 [成人の日]	12	13	14	15 進路希望調査	16 ベネッセ総合学カテスト (進研模試)
17	18	19	20 7限カット	21	22 7限カット 16:00完全下校 除雪【15H】	23 校地内立入禁止 (午後)
24 錦丘中学校適性検査 校地内立入禁止 (終日)	25 除雪【11H】	26 除雪【12H】 薬物乱用防止教室	27 除雪【13H】	28 除雪【14H】	29	30
	除雪【16H】	除雪【17H】	除雪【18H】			

～2月の予定～

6日(土) 駿台全国模試・代ゼミ共通テスト模試

★「1月ベネッセ総合学カテスト」

1月16日(土)にベネッセ総合学カテスト(進研模試)が行われます。みなさんの現在の学習成果を確認し、改善する絶好の機会です。模試前にこれまで勉強してきた内容を復習しておいてください。また、7月、11月の進研模試を振り返ってみましょう。自分の課題を明らかにしてから模試の問題に再び臨むことで、同じミスを繰り返す可能性が低くなります。最大限の準備をしましょう。

★「試験の解き直しがなぜ大切なのか」

自分の学力を上げるために、解き直しは非常に効果的な方法です。なぜなら、試験で解けなかった問題はあなたが十分に理解できていない内容だからです。その問題をできるようにすることが、あなたの弱点克服につながります。1月16日(土)にベネッセ総合学カテスト、2月には駿台全国模試・代ゼミ共通テスト模試や学年末試験があります。それぞれの試験後の解き直しを真剣に行いましょう。必ず力がついていきます。

★「メリハリのある生活のために スマートフォンとうまく付き合っていますか？」

12月19日(土)～1月4日(月)まで17日間の冬休みがありましたが、みなさんはどのように過ごしましたか。部活動や家庭での学習に加えて、家族や友人と楽しく過ごす時間もあつたのではないのでしょうか。時には夜遅くまで起きてしまい、生活リズムが崩れてしまった人もいるかもしれません。みなさんの多くはスマートフォンを所有していると思いますが、適切な使い方をしていますか。LC探究の授業では、Digital Detoxについて学びましたね。Detoxとは「解毒」という意味で、つまりDigital Detoxとは一定期間ネット環境などから離れて過ごすことを意味します。アメリカの研究者が800人の大学生に対して実施した実験では、スマートフォンを机の上に見えるところで置いた場合、たとえスマートフォンの電源が切られて使用していない状態であっても、「今は勉強中だからスマートフォンは使わないでおこう。」と意識してしまい、その意識によって、情報を貯蔵したり理解したりする脳の機能に悪影響を与えてしまうということが書かれていましたね。この研究結果について書かれていた英文の最後には以下のような記述がありました。

The best way for students to do well was to keep their phones in a different room. For many students, this means leaving your phone at home.

「学生が良好な成績を修める最善の方法は自分のスマートフォンを別の部屋に置いておくことである。多くの学生にとっては、自分のスマートフォンを自宅に置いておくことになる。」

現実的に考えるとスマートフォンを家に置いておくことは難しいことかもしれませんが、少なくともスマートフォンが人間の脳に与える影響は大きいことが分かります。テクノロジーは諸刃の剣です。テクノロジーをうまく使う側になるか、もしくはテクノロジーによって使われてしまう側になるかは私たち人間の理性によって決まるのです。今一度自分自身の生活を振り返ってみてください。